

イベント

オランダ島までの遠泳



完泳し海水浴客らに祝福される渡辺桃子さん（後列中央）、紀久子さん（同右）



養殖いかだの間を縫って力泳する渡辺姉妹

神奈川在住の渡辺さん姉妹
お父さんの古里の海満喫

8月6日、本町ゆかりで神奈川県在住の渡辺桃子さん(25)、紀久子さん(22)の姉妹が、山田漁港からオランダ島までの約1.5*を泳いで渡りました。「オランダ島&鯨まつり」のイベントとして行われたもので、姉妹の父親は本町出身の渡辺拓郎さん(旧姓・濱村)。東京消防庁に勤務する桃子さんは、数々の遠泳大会で優勝経験があり、大学4年生の紀久さんは高校まで水泳部というスポーツウーマンの2人。祖父の濱村半藏さん=長崎・93=と叔父の大典さん(63)らが見守る中、山田漁港の北浜岸壁を出発しました。養殖いかだの間を力強い泳ぎで約30分でオランダ島に到着した後、さらに25分で島を一周し、海水浴客らの盛んな拍手に迎えられました。2人は「島のそばは小魚がいっぱいで楽しかった。懐かしい砂浜に渡ることができ感激です」と話していました。



鯨肉の販売コーナーには長蛇の列ができました(写真上)/試食コーナーで鯨肉をほお張る子供(丸写真)



会場ではマグロの解体ショーも行われました



山田郵便局では、まつりに合わせて風景入り通信日付印の使用を開始。同局に申し出ると上記日付印が押してもらえます(実物大)



記念に販売された「オランダ島ビール」

オランダ島
& 鯨まつり

カメラ
レポート



タイムトライアル方式で行われた鯨カヌーレース。参加者は水しぶきを上げながら優勝を目指しました



鯨カヌーレースで優勝した「三陸カヤックス」の皆さん

八月二十二日、「オランダ島&鯨まつり」が山田漁港、オランダ島、鯨と海の科学館の三会場で開催された。山田町商工会が中心となって組織する山田の魅力発信実行委員会(阿部幸栄会長)が、通年計画の「やまだてんこ盛りフェスタ2004」の一環として開催したもので、会場は四千七百人の家族連れなどにぎわいました。山田漁港会場では、新鮮な農・水産物や特産品の販売などのほか、鯨肉販売・試食コーナーも設けられ、長蛇の列ができていました。オランダ島会場ではタイムトライアル方式の鯨カヌーレースが行われ、町内外から五チームが参加。水しぶきを上げながら往復六百メートルの特設コースで速さを競い合いました。結果、「三陸カヤックス」が優勝に輝きました。当日は山田漁港からオランダ島までの無料巡航船が運航されたほか、鯨と海の科学館による「山田湾・船越湾の成り立ちを巡る観察会」も行われ、乗船した人たちは船上から眺める壮大な景観を堪能していました。



岩手発! アイドルユニット「LOVE-YOURSライブ」。若者から盛んな声援が送られていました



オープニングセレモニーなどでは、「ちびっこお菓子まき」が行われ、大勢の人が次々に投げ込まれるお菓子を取り合っていました